

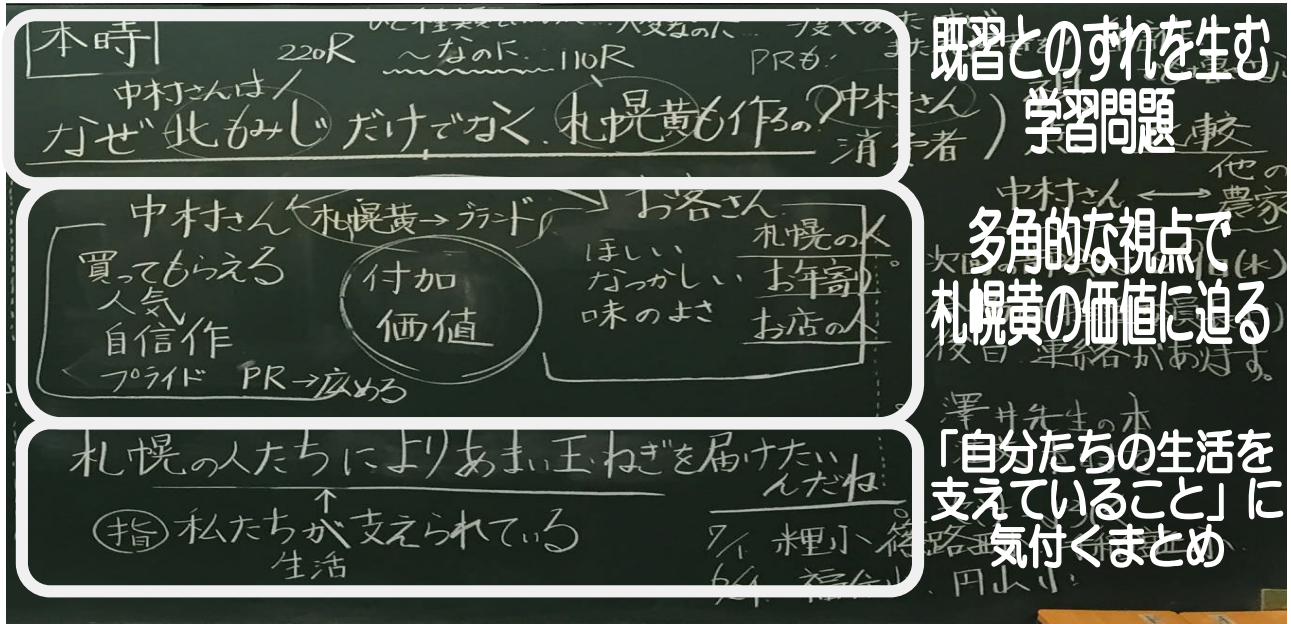


3年生部会 部報



第5回 平成28年6月15日 (文責: 吉田)

6月1日に5回目、15日に6回目の学年部会が行われました。6回目の話合いで出された意見・明らかになってきたことをお知らせします。



授業者である本多先生の案を基に、**札幌黄の価値がより濃く表れるような単元**にするための検討を重ねてきています。

札幌黄の価値を多角的な視点で考える

「札幌黄をつくる」という社会的事象から見える本質的な価値は何か。これが話題の中心となっています。

消費者にとっての札幌黄、生産者にとっての札幌黄、生産しない農家にとっての札幌黄、販売店にとっての札幌黄など、**多角的な視点**で「札幌黄」について考えることが話題となりました。9月の初出荷後、年内までの3か月間で売り切れてしまう札幌黄に絶大な価値があることは間違いありません。その価値を、どのような形にして子どもに見せるのが課題です。

札幌黄の価値に迫るための単元構成の在り方

本質に迫る学習問題作りのために、何を比較するのか。「~なのに」を生むために単元で何を積み重ねていくのか。札幌黄の生産者である農家の方の思いが表れる授業にするためには、どのような構造が最適か。次回の部会では、こうした課題をひとつひとつ解決し、札幌黄のように「札幌ブランド」と誇れる授業となるよう話し合っていきます。

<次回の部会>

6月29日(水) 会場未定(決まり次第、連絡します) 18時30分~
時間、車、服装、マナーなどにご配慮ください。欠席、遅参の場合は連絡をください。